

自主推進目標値とTDKの取り組み

具体的な行動目標を掲げて取り組んでいます。

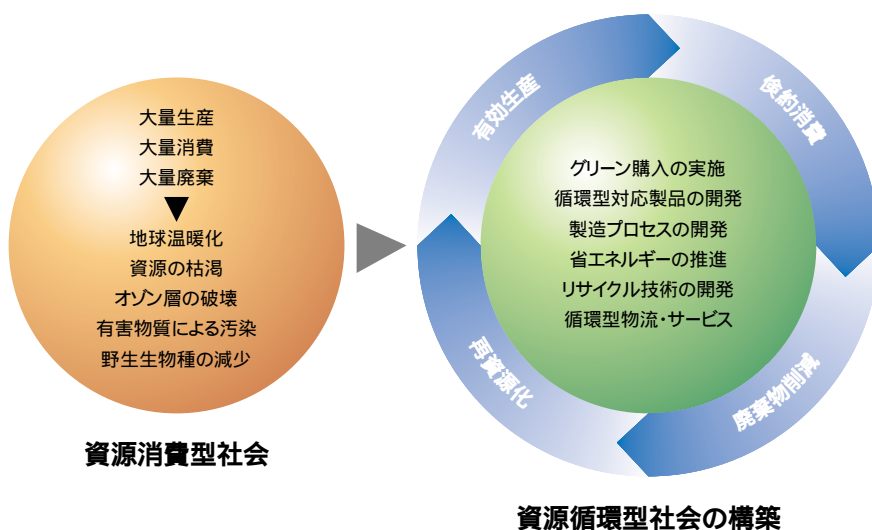
資源循環型社会への貢献を目指し

TDKの考える環境先進企業とは「有害物質を使わず、最高の資源効率で、有用な製品を世に送りだし、外部に対してオープンで、かつ適正利潤をあげられる企業」です。

TDKでは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001をベースに運用することで、事業所管理、企業姿勢、製造・製品、資材調達の環境管理活動を統括管理し、相乗効果により2004年3月までにゼロエミッションを達成し、資源循環型社会への貢献を目指します。

自主推進目標値と進捗

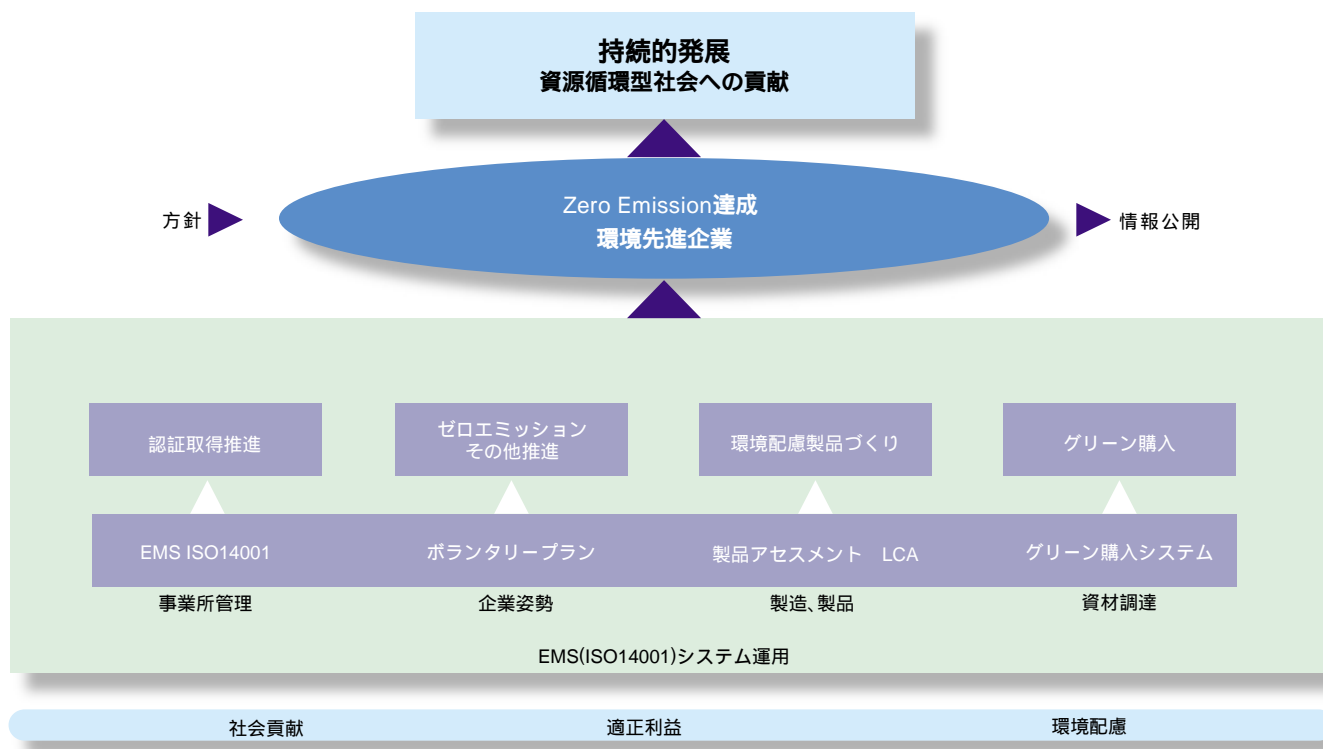
TDKは1993年に「TDK環境ボランティアプラン」を策定し、具体的な行動目標を掲げて取り組んできました。その進捗状況は下記の通りです。



TDKグループの自主推進目標値と実績

| 推進課題 | 推進目標値 |
|--|--|
| 環境マネジメントシステム構築 (ISO14001に沿った環境マネジメントシステム構築を推進する) | <ul style="list-style-type: none"> ・2000年3月までに海外工場の認証を取得する。 ・2001年3月までに本社およびサービス子会社の認証を取得する。 |
| 環境配慮型製品の開発 | <ul style="list-style-type: none"> ・製品アセスメントを2000年3月までに海外拠点でも実施する。 ・環境配慮型製品の認定制度を2000年3月までに導入する。 |
| 地球温暖化防止 | <ul style="list-style-type: none"> ・単位売上高当りのエネルギー原単位(原油換算)を、2011年3月までに1990年度比25%削減する。 ・PFC排出量を2011年3月までに1995年度比で60%削減する。 |
| ゼロエミッションの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所から排出される廃棄物を2006年3月までにゼロとする。 |
| 環境負荷物質使用の低減 | <ul style="list-style-type: none"> ・塩化メチレンを2001年3月までに全廃する。 ・化学物質の排出量を2006年3月までに1997年度比で20%削減する。 ・2001年3月までにはんだの鉛フリー化対応を完了する。 ・製品の鉛使用を継続的に削減する。 |

注 自主推進目標値の改定は1999年10月



| 1999年度実績 | 今後の取り組み | 関連頁 |
|--|---|--------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・海外工場19事業所中12事業所で認証取得しました。 ・本社及びサービス子会社の認証取得活動中です。 | <ul style="list-style-type: none"> ・残り7事業所については、2001年3月までに認証を取得します。 ・本社及びサービス子会社の認証取得活動を促進します。 | 16 16 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実施を開始しました。 ・導入を完了しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本社監査による製品アセスメントシステムの改善と、LCA導入による定量的環境負荷の把握を推進します。 | 6~9 18 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・1990年度比2.2%悪化しました。 ・1995年度比73.0%削減し達成しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー、コージェネレーションシステムを導入します。生産工程の効率化、空調の省エネルギーを促進します。 ・代替物質の切替を検討します。 | 12 13 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・再資源化率59%を達成しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進します。 ・当初目標値より2年前倒しでの達成を目指し取り組んでいます。 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新たに4事業所で塩化メチレン全廃しました。(37事業所中計20事業所となりました。)(生産の増加により、取扱量は増加しました。) ・1997年度比6.1%削減しました。 ・一部製品にてはんだの鉛フリー化対応完了しました。 ・一部素材にて鉛フリー対応を完了しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・無洗浄化技術の確立、代替洗浄剤を検討・切替えます。 ・塩化メチレンの全廃を中心に削減します。 ・鉛フリーはんだ対応部品の開発を促進します。 ・鉛フリー素材の開発を促進します。 | 15 15 7 7 |

: 自主推進目標達成
 : 自主推進目標に対し良好に推移
 : 自主推進目標に対し悪化
 : 自主推進目標未達成